



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

決算説明会

2023年12月期（第16期）第2四半期

東証 グロース：4579

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。



1. ビジネスハイライト

2. 第2四半期業績

業績概要・事業収益・研究開発費・貸借対照表・キャッシュフロー

3. 今期の見通し

4. 上市製品の状況

テゴプラザン・ペット用医薬品

5. パイプラインの状況

開発パイプライン・創薬研究・テムリック

6. 株主価値向上に向けた施策



RaQualia
innovators for life

ビジネスハイライト



連結経営成績

事業収益1,014百万円。対通期進捗率36.2%

- 自己資本比率：89.8%（前期末比2.1ポイント増）
- キャッシュフロー：現金および現金同等物残高 3,565百万円（前期末比113百万円減）

上市品の状況

テゴプラザンの市場拡大が着実に前進

- 韓国、中国、フィリピン、モンゴル、メキシコ、インドネシアの6カ国で販売中
 - ・ インドネシア：販売開始（2023年7月）
 - ・ ペルー：販売承認を取得（2023年7月）
- 韓国：累計売上高（処方実績）741億ウォン（約74億円、前年同期比22.2%増）

ペット用医薬品も順調

- GALLIPRANT®/ENTYCE®/ELURA®：前四半期に引き続き順調な売上推移

導出

動物薬に関するオプションおよびライセンス契約を新たに締結

- 5-HT₄作動薬（RQ-00000010）に関する契約をVetbiolix SASと締結

パイプライン 進捗

ライセンス先/サブライセンス先での進展

- CB2作動薬についてサブライセンス先のOxford Cannabinoid Technologies Holdings plc が英国における第I相臨床試験を開始（2023年7月）

自社の研究開発の進展

- 構造生物学に関する協業をleadXpro AGと開始

子会社 (テムリック)

タミバロテン

- 骨髄異形成症候群（MDS）および急性骨髄性白血病（AML）臨床試験が米国で進行中
- タミバロテンとがん治療薬併用投与の日本における用途特許査定（2023年7月）



RaQualia
innovators for life

第 2 四半期業績



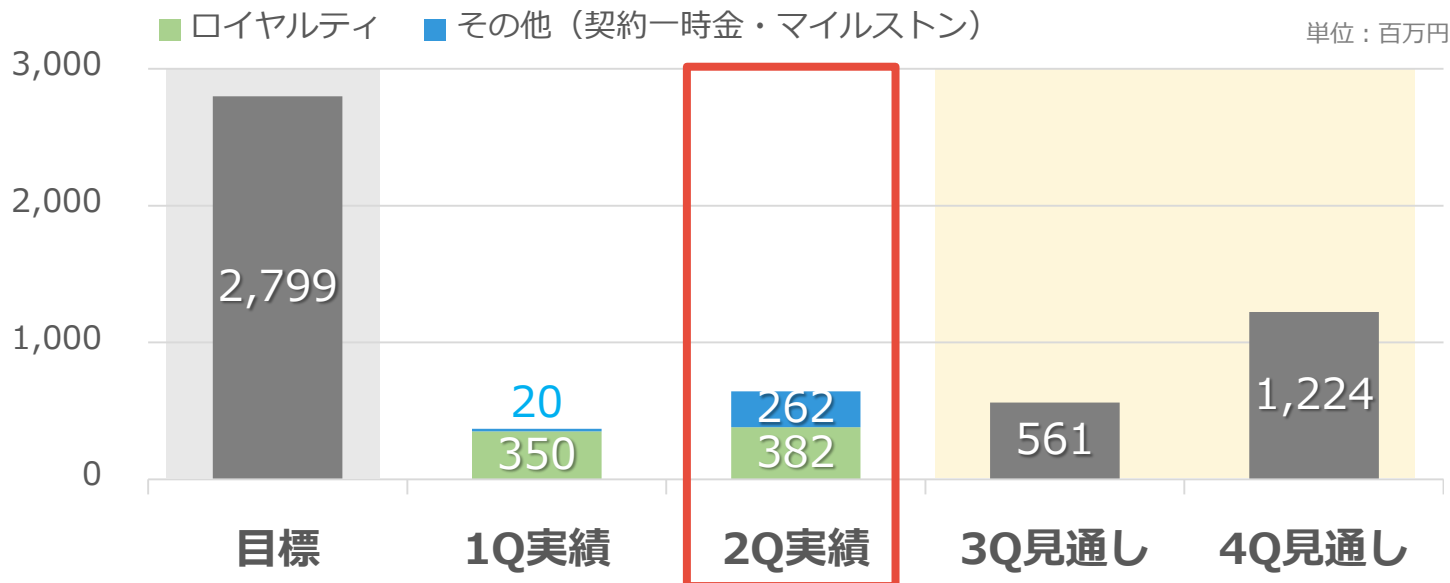
	2023年12月期第2四半期	2022年12月期第2四半期 (前年同四半期)
事業収益	1,014 百万円	1,447 百万円
営業利益	△23 百万円	551 百万円
経常利益	36 百万円	681 百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25 百万円	469 百万円
EBITDA ¹⁾	48 百万円	620 百万円

1) EBITDA: 利払・税引・減価償却前利益。国ごとに異なる税率・金利の影響を減らし、中長期的視点で企業の収益力を表す指標として用いられます。



通期計画 2,799百万円に対し、1,014百万円を計上

- ロイヤルティ：テゴプラザン（韓国）のロイヤルティと動物薬のロイヤルティで382百万円を計上
- その他：マイルストーン達成に伴う一時金とシロス社から受領した手数料で262百万円を計上



達成率

36%

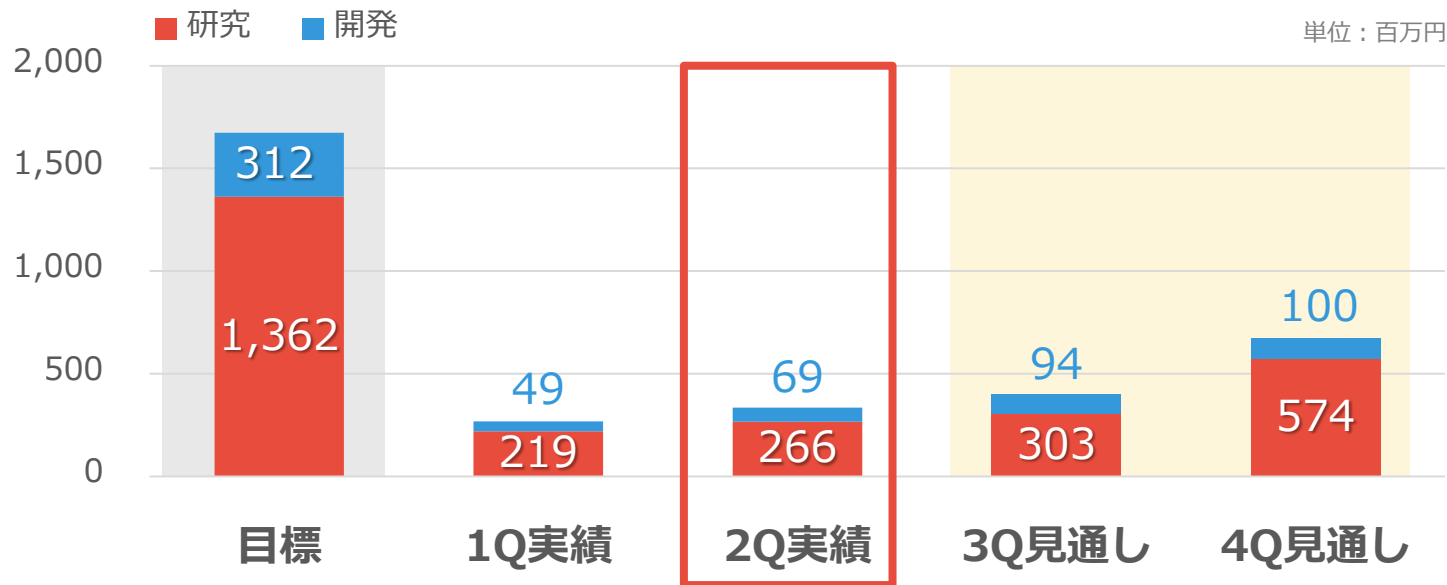
実績	1Q	テゴプラザンおよび動物薬の販売ロイヤルティで350百万円を計上 マイルストーン達成に伴う一時金などでその他収益20百万円を計上
	2Q	テゴプラザンおよび動物薬の販売ロイヤルティで382百万円を計上 マイルストーンおよびシロス社の臨床開発に伴い発生する手数料などでその他収益262百万円を計上
見通し	3Q	販売ロイヤルティおよびその他収入をあわせて561百万円を見込む
	4Q	販売ロイヤルティおよびその他収入をあわせて1,224百万円を見込む

※今後の見通しについては収入区分の別を設けずまとめて表示しています。



通期計画 1,674百万円に対し、603百万円を計上

- 探索研究を軸に335百万円を計上
- 前四半期に引き続きグレリンの前臨床試験および臨床試験準備が進行中



実績	1Q	探索研究を軸に268百万円を計上 グレリンの前臨床試験および臨床試験用原薬製造に向けた取り組みが進行中
	2Q	探索研究を軸に335百万円を計上 グレリンの前臨床試験が進行中。原薬製造をはじめとした臨床試験に向けた取り組みも進行中
見通し	3Q	探索研究活動に前臨床開発および臨床試験の準備費用を加えた397百万円を使用する見込み
	4Q	探索研究活動に前臨床開発および臨床試験の準備費用を加えた674百万円を使用する見込み

※本資料では開発候補化合物の前臨床試験以降を「開発」としています。研究開発費は研究開発部門の人件費等を含みます。



自己資本比率89.8%（前期末比2.1ポイント増）

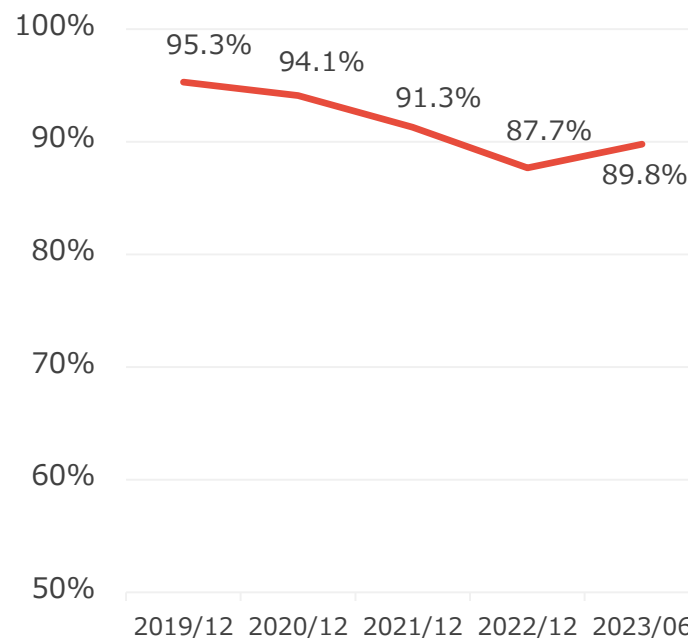
- 資産：売掛金・契約資産の減少、現預金・リース資産の増加などにより、前期末比947百万円増加（15.1%増）
- 負債：リース債務の増加、未払金の減少、未払法人税等の減少などにより、前期末比54百万円減少（7.1%減）
- 純資産：四半期純利益の計上、有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比1,001百万円増（18.2%増）

連結貸借対照表（対前期末比較）

単位：百万円

	負債 706 (△54)
流動資産 5,214 (+392)	純資産 6,498 (+1,001)
固定資産 1,990 (+555)	

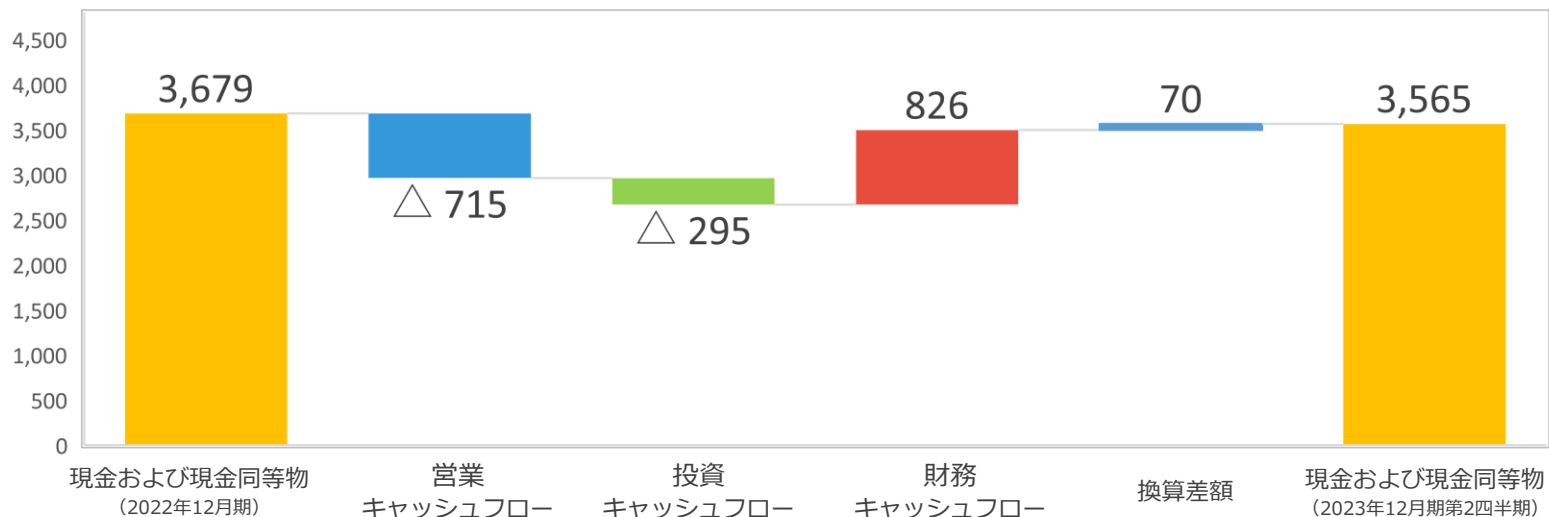
自己資本比率





現金および現金同等物は前期末比113百万円減少（3.1%減）

単位：百万円



営業

キャッシュフロー

主な増加要因：税金等調整前四半期純利益36百万円、減価償却費71百万円

主な減少要因：売上債権の増加213百万円、前払費用の増加261百万円

投資

キャッシュフロー

主な増加要因：なし

主な減少要因：有形固定資産の取得119百万円、投資有価証券の取得160百万円

財務

キャッシュフロー

主な増加要因：株式の発行782百万円、長期借入50百万円

主な減少要因：なし



RaQualia
innovators for life

今期の見通し



● 今期連結業績見通しに変更なし

事業収益 2,799百万円、事業費用 2,538百万円、営業利益 260百万円



売上

- 1 Qは、販売ロイヤルティを軸に370百万円を計上
- 2 Qは、販売ロイヤルティとマイルストーン・一時金等を軸に 644百万円を計上
- 3 Qは、販売ロイヤルティとマイルストーン・一時金等を軸に 561百万円を見込む
- 4 Qは、販売ロイヤルティとマイルストーン・一時金等を軸に 1,224百万円を見込む

以上の結果、通期で2,799百万円を見込む

費用

- 1 Qは、事業原価 59百万円、研究開発費用 268百万円、その他販売費一般管理費 152百万円を計上
- 2 Qは、事業原価 63百万円、研究開発費用 335百万円、その他販売費一般管理費 160百万円を計上
- 3 Qは、事業原価 58百万円、研究開発費用 397百万円、その他販売費一般管理費 146百万円を見込む
- 4 Qは、事業原価 58百万円、研究開発費用 674百万円、その他販売費一般管理費 168百万円を見込む

以上の結果、通期で2,538百万円を見込む



RaQualia
innovators for life

上市製品の状況

テゴプラザン・ペット用医薬品



種別	一般名・作用機序	適応症	製品名・販売元
 ヒト用	テゴプラザン カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	<ul style="list-style-type: none"> 胃食道逆流症 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 (ほか)	K-CAB® (韓国) HK inno.N Corporation タイシンザン 泰欣赞® (中国) Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co.,Ltd. (ほか)
  ペット用	グラピプラント EP4拮抗薬 カプロモレリン グレリン受容体 作動薬	<ul style="list-style-type: none"> 犬の骨関節炎 犬の食欲不振 慢性腎疾患の猫の 体重減少管理 猫の食欲不振 	GALLIPRANT® (日米欧ほか) Elanco Animal Health Inc. ENTYCE® (米国) Elanco Animal Health Inc. ELURA® (米国) Elanco Animal Health Inc.



テゴプラザンのグローバル展開の状況

2023年12月期 第2四半期

36か国に進出。今後2年で更なる販売地域拡大の見通し

表. 主要な国・地域における販売・開発状況および消化性潰瘍治療薬の市場規模

(2023年8月1日現在)

国・地域	導出先 ¹⁾	販売・開発状況	市場規模 ²⁾
 韓国	HKイノエン社	シェア1位を維持	1,000億円
 中国	Luoxin社	'22年4月発売	4,100億円
 フィリピン	MPPI社	'22年10月発売	80億円
 モンゴル	Monos社	'22年10月発売	—
 メキシコ	Carnot社	'23年5月発売 NEW	570億円 ³⁾
 インドネシア	Kalbe社	'23年7月発売 NEW	200億円
 シンガポール	UITC社	'23年中に発売予定	16億円
 ペルー	Carnot社	'23年中に発売予定 NEW	570億円 ³⁾
 タイ、ベトナム、マレーシア	Pond's社、Lyhn farma社、Pharmaniaga社	承認審査中	270億円
 アルゼンチン など中南米15カ国	Carnot社	承認審査中	570億円 ³⁾
 インドなど7か国	Dr. Reddy社	申請・開発準備中	1,300億円
 ブラジル	Eurofarma社	申請準備中	800億円
 米国	Braintree社	臨床試験中/'25年発売予定	3,700億円

1) HKイノエン社からのサブライセンス先を含む；2) 2021年末時点（出所：HKイノエン社IR資料（2023年4月））

3) メキシコ・アルゼンチン・ペルーなど中南米17カ国の市場規模の合計値

※換算レート：1韓国ウォン=0.10円



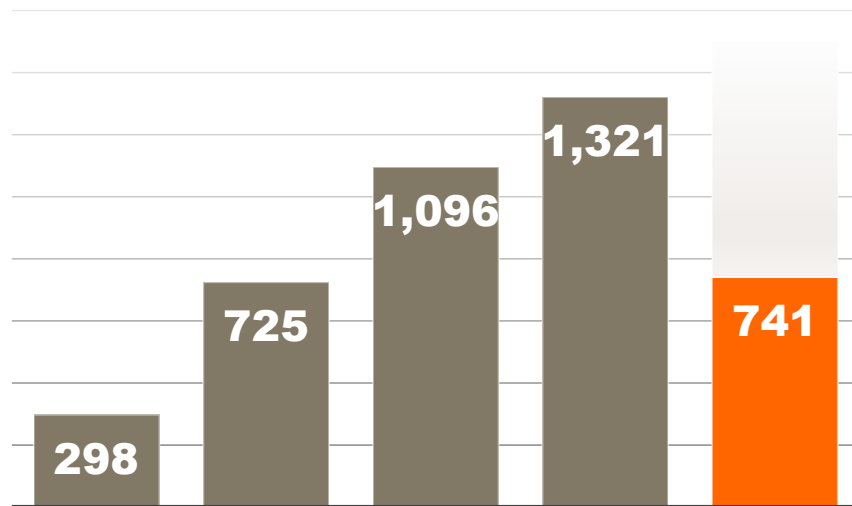
韓国

口腔内崩壊錠の伸長などにより二桁成長を維持

- 当第2四半期累計期間の国内売上高※1 741億ウォン（約74億円）
- 口腔内崩壊錠（OD錠）が売上の伸びをけん引

「K-CAB®」の韓国売上高の推移

(単位：億ウォン)



1. 前年同期比 **+22.2%**

2. 市場シェア **第1位** (シェア12%)

3. OD錠売上割合 **16%**

2019 2020 2021 2022 2023

※1：院外処方実績（暫定値）
換算レート：1韓国ウォン=0.10円



中国

びらん性胃食道逆流症治療薬として販売中 2023年3月から保険償還開始

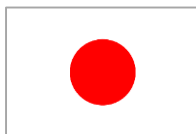
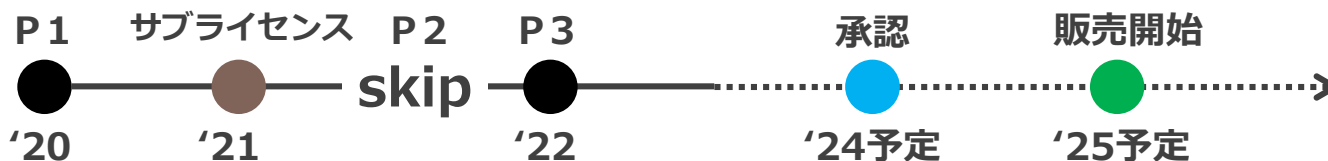
- 現在、31の省・行政区で販売中
- 本年上半期の販売結果を当社2023年第3四半期決算に反映予定



米国

米国における第Ⅲ相臨床試験（P3試験）実施中

- Braintree Laboratories, Inc.（本社：米国・ブレインツリー）
- 2025年に販売開始予定



日本

日本における早期上市を目指して導出交渉中

- 導出候補先と製造販売を視野にいれた協議を実施中





ペット用医薬品には**公定薬価制度が無く**、
飼い主の評価が高い製品は**売上が安定する傾向**

EP4拮抗薬 **GALLIPRANT®**



一般名	grapiprant (グラピプラント)
適応症	犬の骨関節炎
販売元	Elanco Animal Health, Inc. (米国) (エランコ社)

- 日米欧ほかで販売中
- エランコ社史上10個目のブロックバスター¹⁾

グレリン受容体作動薬 **ENTYCE® / ELURA®**



一般名	capromorelin (カプロモレリン)
適応症	犬の食欲不振 (ENTYCE®) 慢性腎疾患の猫の体重減少管理、猫の食欲不振 (ELURA®)
販売元	エランコ社

- ENTYCE® : 米国で販売中
- ELURA® : 米国で販売中。欧州で承認審査中

1) エランコ社 2021年度決算発表 (2022年2月24日)



RaQualia
innovators for life

パイプラインの状況

開発パイプライン・創薬研究・テムリック



開発パイプライン一覧

(2023年8月1日現在)

導出済み

開発段階非開示

特定のイオンチャネル 消化器領域 EAファーマ社	選択的ナトリウムチャネル遮断薬 鎮痛・鎮痒 マルホ社
--------------------------------	----------------------------------

EP4拮抗薬 変形性関節症ほか AskAt社					
TRPM8遮断薬 慢性疼痛 Xgene Pharmaceutical社		EP4拮抗薬 疼痛 AskAt社			テゴプラザン (K-CAB®) 胃食道逆流症ほか HKイノエン社
ナトリウムチャネル遮断薬 慢性疼痛 久光製薬社	フェーズ1開始 CB2作動薬 化学療法誘発性末梢神経障害 AskAt社/OCT社	COX2阻害薬 疼痛 AskAt社			EP4拮抗薬 (GALLIPRANT®) イヌの骨関節炎 エランコ社
COX2阻害薬 疼痛 (動物薬) AskAt社	EP4拮抗薬 がん (がん免疫) AskAt社	タミバロテン 急性骨髄性白血病 Syros Pharmaceuticals社			グレリン受容体作動薬 (ENTYCE®) イヌの食欲不振 エランコ社
新規契約 5-HT ₄ 作動薬 消化管運動障害 (動物薬) Vetbiolix社	5-HT ₄ 部分作動薬 アルツハイマー病 AskAt社	P2X7受容体拮抗薬 慢性疼痛 旭化成ファーマ社/リリー社		タミバロテン 骨髄異形成症候群 Syros Pharmaceuticals社	グレリン受容体作動薬 (ELURA®) ネコの慢性腎臓病の体重減少管理 エランコ社



導出準備

モチリン受容体作動薬 胃不全麻痺ほか	テゴプラザン (日本) 胃食道逆流症ほか
グレリン受容体作動薬 悪液質に伴う食欲不振、 脊髄損傷に伴う便秘	5-HT ₄ 作動薬 胃不全麻痺ほか
TRPM8遮断薬 (日本) 慢性疼痛	5-HT _{2B} 拮抗薬 下痢型IBS

注1) 前臨床段階以降にあるプログラムについて標的疾患ごとにわけて表示しています。
 注2) 国・地域によって開発段階に差がある場合は、最も進んだ段階を表示しています。
 詳細につきましては当社ウェブサイト (<https://www.raqualia.com/ja>) の「開発情報」にてご確認ください。



主な標的疾患の潜在市場規模

決算説明会

RaQualia
innovators for life

2023年12月期 第2四半期

疾患名	当社開発パイプライン	患者数	市場規模 (地域)	既存薬
胃食道逆流症 ^{1,2)}	テゴプラザン	5,800万人 (米国) 1,700万人 (日本)	2兆円 (全世界) 3,700億円 (米国) 2,500億円 (日本)	H2RA、PPI、 ポノプラザン
疼痛 ^{3,4)}	EP4拮抗薬 COX2阻害薬 TRPM8遮断薬 P2X7受容体拮抗薬 ナトリウムチャネル 遮断薬 CB2作動薬	5,000万人 (米国) 2,300万人 (日本)	2兆円 (全世界) 3,000億円 (日本)	プレガバリン、 デュロキセチン、 セレコキシブ 他
がん免疫 ^{5,6)}	EP4拮抗薬	がん患者の約12%が がん免疫療法に応答	10兆円 (全世界)	ニボルマブ、 ペムブロリズマブ他
骨髄異形成症候群 ^{7,8)}	タミバロテン	6-17万人 (米国)	4,000億円 (全世界)	アザシチジン 他
急性骨髄性白血病 ^{9,10)}	タミバロテン	16万人 (全世界) 7,000人 (日本)	8,000億円 (全世界)	アザシチジン、 ベネトクラクス 他

以下の資料に基づき当社で推計：1) HKイノエン社資料；2) Sci. Rep. 10:5814 (2020)；3) 日経バイオ年鑑2021 (2020)；4) 日経バイオ年鑑2022 (2021)；5) Cancer Immunotherapy Market: Global Industry Trends, Share, Size, Growth, Opportunity and Forecast 2022-2027 (2022)；6) JAMA Network Open. 2(5):e192535 (2019)；7) MDS Foundation (<https://www.mds-foundation.org/what-is-mds/>)；8) シロス社 Corporate Presentation (https://d1io3yog0oux5.cloudfront.net/_a0c7d944cf88384f602c6f1f93d0b19f/syros/db/298/2527/pdf/August+2023.pdf) (9) Acute Myeloid Leukemia Market - Growth, Trends, COVID-19 Impact, and Forecasts (2022 - 2027) (2022)；10) アッヴィ合同会社プレスリリース (2020/6/24)



サブライセンス先¹⁾であるOxford Cannabinoid Technologies Holdings plc (OCT社) が**英国における第 I 相臨床試験を開始**



- 安全性、忍容性および薬物動態に関する情報の取得
- **2023年第3四半期**に結果取得予定

主適応症：化学療法誘発性末梢神経障害（CIPN）



痛みやしびれの症状により生活の質を損なう



ある種の**抗がん剤の副作用**として発症



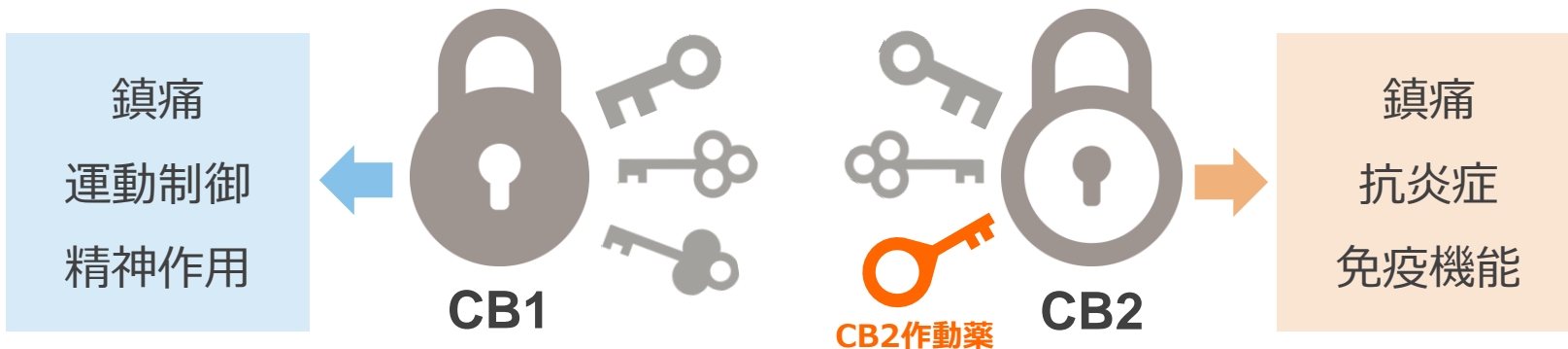
世界の市場規模はおよそ**2,250億円**
2027年にはおよそ**3,300億円**に拡大すると予想

¹⁾ 株式会社AskAtからのライセンス
ご参考：OCT社ウェブサイト (<https://www.oxcantech.com/cannabinoidmedicine>)
本資料では「カンナビノイド CB2 受容体作動薬」を「CB2作動薬」と表記しています。



RQ-00202730¹⁾は**CB2選択的に作用する化合物**
CB1を介した中枢性の**副作用の回避**に期待

カンナビノイド受容体 CB1/CB2 を介した様々な生理機能



- **CB1への作用は、行動・精神などの中枢神経系副作用のリスクがある**
- **CB2作動薬は、疼痛・炎症性疾患・癌などの治療薬として期待**

1) 開発コード：AskAt社 (AAT-730), OCT社 (OCT461201)
ご参考：OCT社ウェブサイト (<https://www.oxcantech.com/cannabinoidmedicine>)

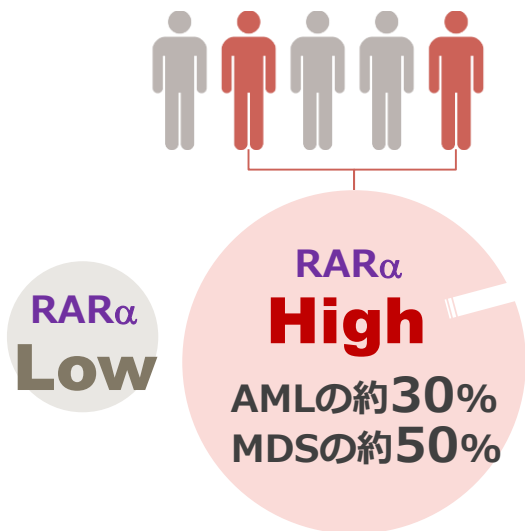


タミバロテン (TM-411/AM80/SY-1425)

- レチノイン酸受容体の α サブタイプ $RAR\alpha$ の選択的作動薬
- $RAR\alpha$ を**バイオマーカー**とした**Precision Medicine** の新薬承認を目指す
- 抗がん治療において**多様なメカニズム**で抗腫瘍効果を示す

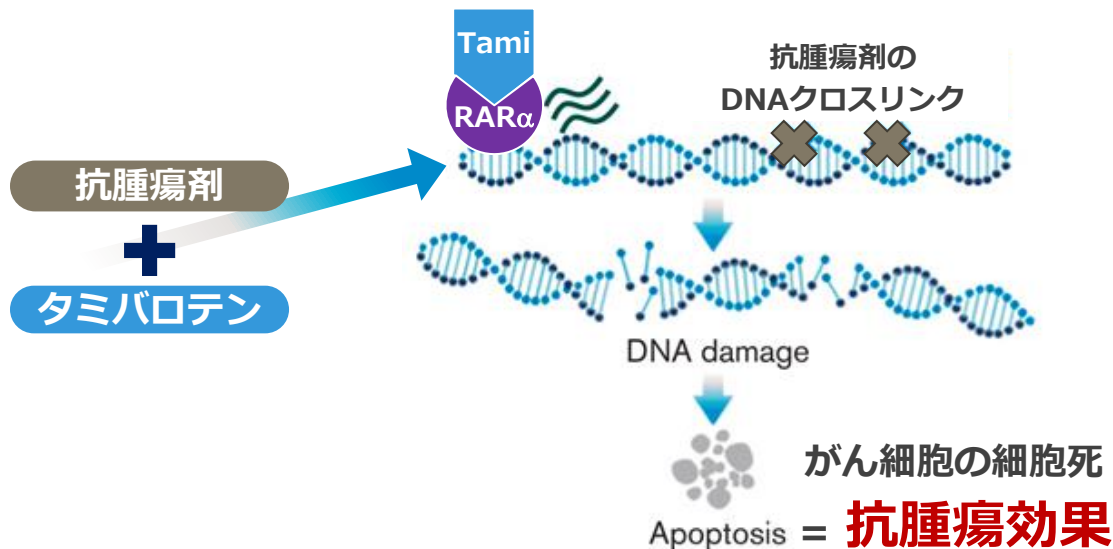
適応例：AML¹⁾およびMDS²⁾

$RAR\alpha$ の発現量を解析



タミバロテンが $RAR\alpha$ に結合

→ 分化関連因子の遺伝子発現制御



Botton et al., Blood Adv (2023) 7 (9): 1858-1870

1) AML (Acute myeloid leukemia): 急性骨髄性白血病 ; 2) MDS (Myelodysplastic syndromes): 骨髄異形成症候群



Syros Pharmaceuticals Inc.におけるタミバロテンの開発

急性骨髄性白血病 (AML)

 フェーズ 2 試験 "SELECT-AML-1" 実施中

- 未治療unfit¹⁾-AMLを対象としたベネトクラクス・アザシチジンとの併用
- 2023年4Qに無作為化試験パートの結果発表予定

骨髄異形成症候群 (MDS)

 フェーズ 3 試験 "SELECT-MDS-1" 実施中

- 未治療高リスクMDSを対象としたアザシチジンとの併用
- 2024年3Qに結果発表予定 → 2024年に承認申請予定

その他の取り組み状況

膵がん 尿路上皮がん



膵がん・尿路上皮がんに対する臨床研究・医師主導治験²⁾進行中

- がん周辺の微小環境に作用することで、抗がん剤抵抗性の改善を期待



タミバロテンとがん治療薬併用投与の日本における用途特許査定
(2023年7月12日公表)

後継品プロジェクト：タミバロテン後継品の探索を実施中

1) unfit：高齢者などで標準化学療法に適さない患者さんの状態
2) 名古屋大学を代表機関とするAMED臨床研究・治験推進研究事業

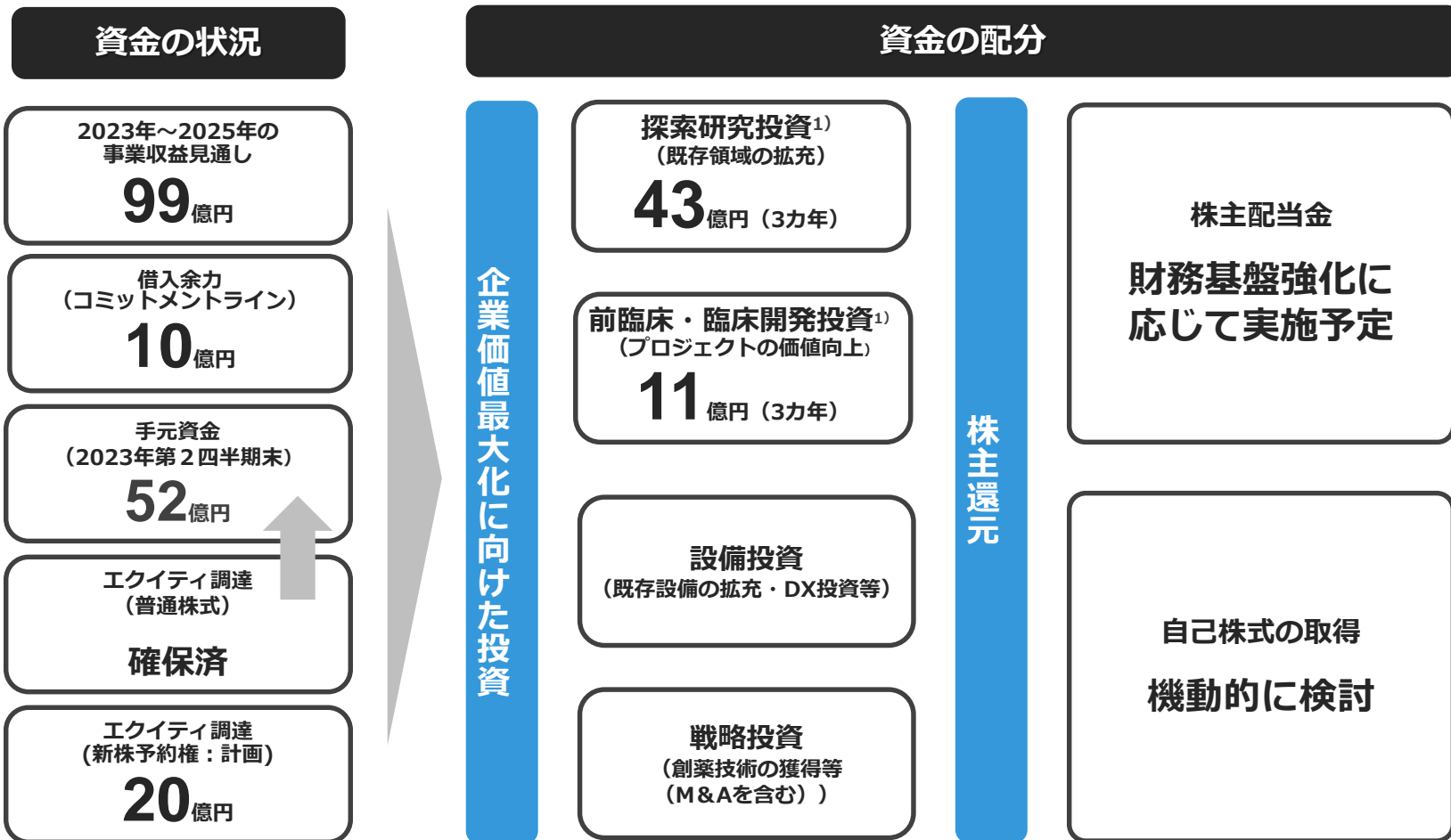


RaQualia
innovators for life

株主価値向上に向けた施策



企業価値最大化を最優先し長期的に株主還元を実現する



1) 2023年～2025年の3カ年の計画であり人件費を含む額となっております。

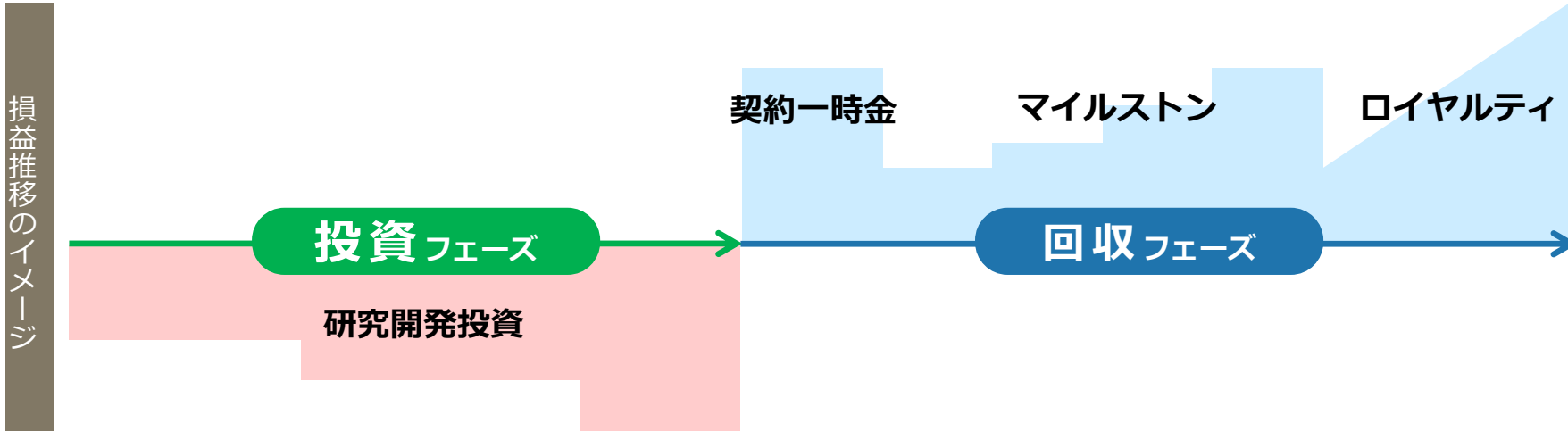


$$\text{PBR} = \text{PER} \times \text{ROE}$$

(株価純資産倍率) (株価収益率) (自己資本利益率)

成長期待

収益性



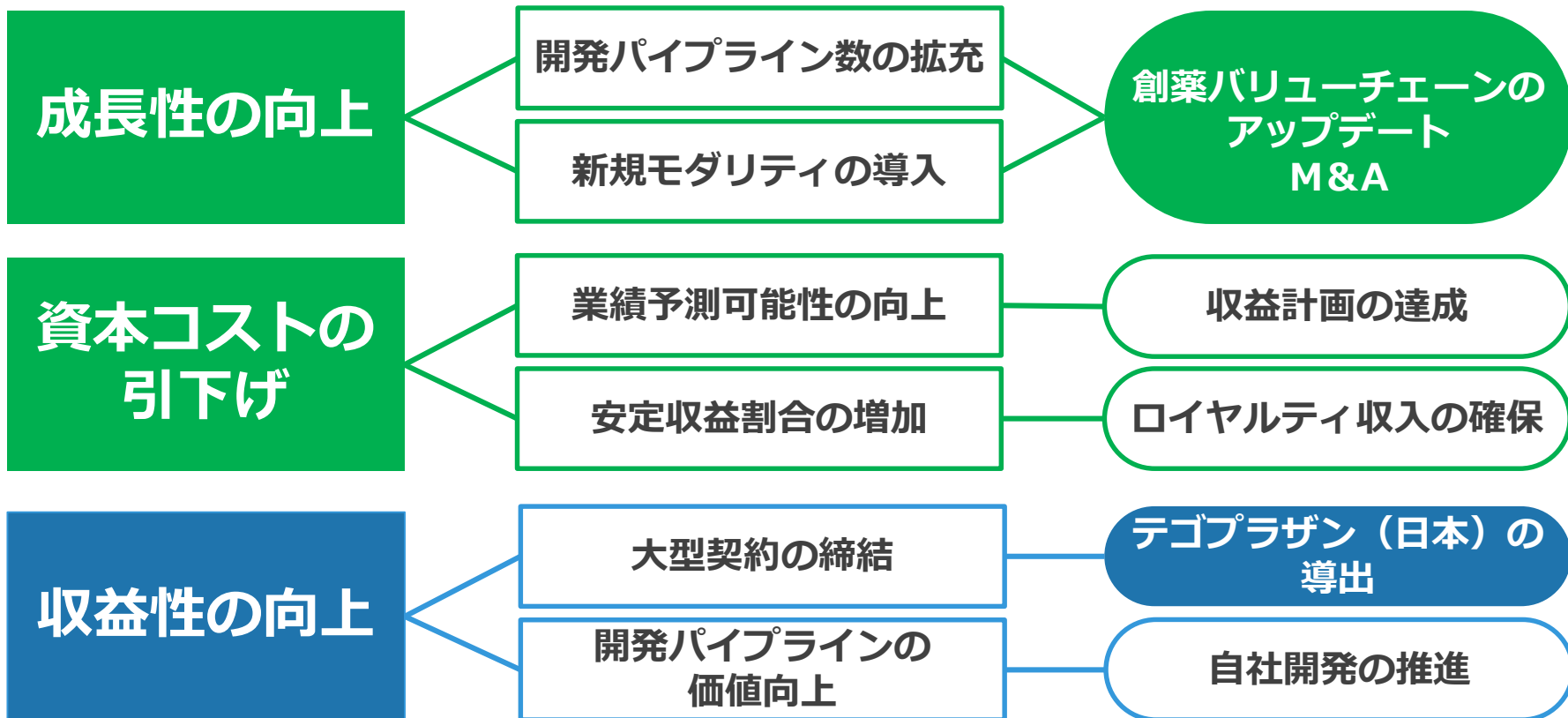
成長期待によってPERを向上させる

投資回収によってROEを向上させる



今期は、成長性の向上に重点を起きつつ 大型契約の締結を実現する

PER向上を目指した施策・実施事項



ROE向上を目指した施策・実施事項



パイプラインの拡充と大型導出を実現する

決算説明会

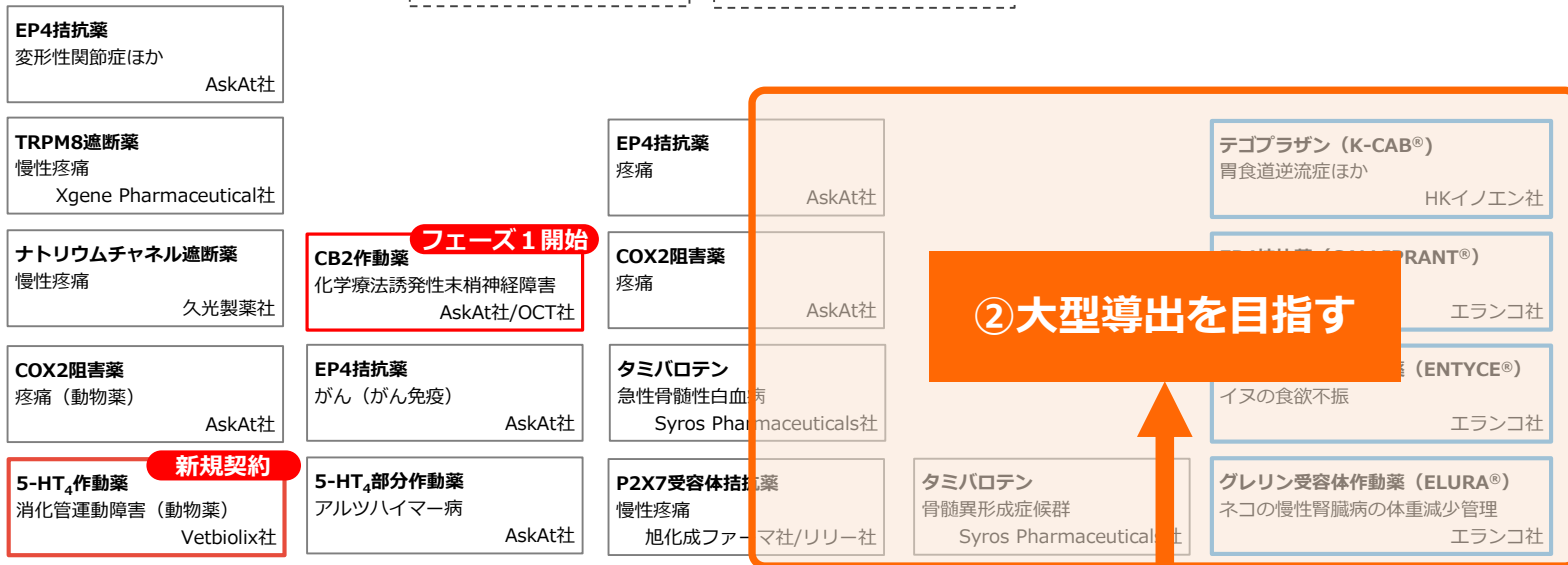
2023年12月期 第2四半期

(2023年8月1日現在)

開発段階非開示

特定のイオンチャネル 消化器領域 EAファーマ社	選択的ナトリウムチャネル遮断薬 鎮痛・鎮痒 マルホ社
--------------------------------	----------------------------------

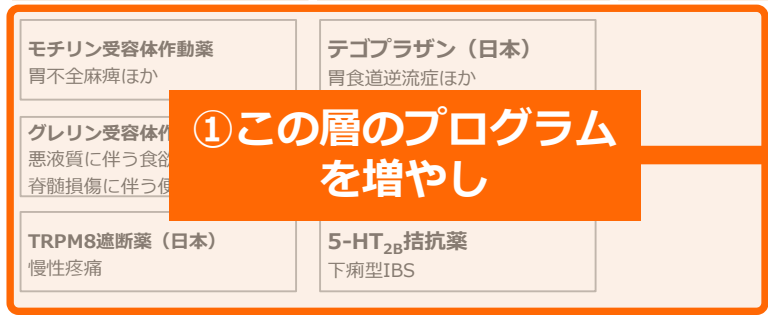
導出済み



②大型導出を目指す



導出準備

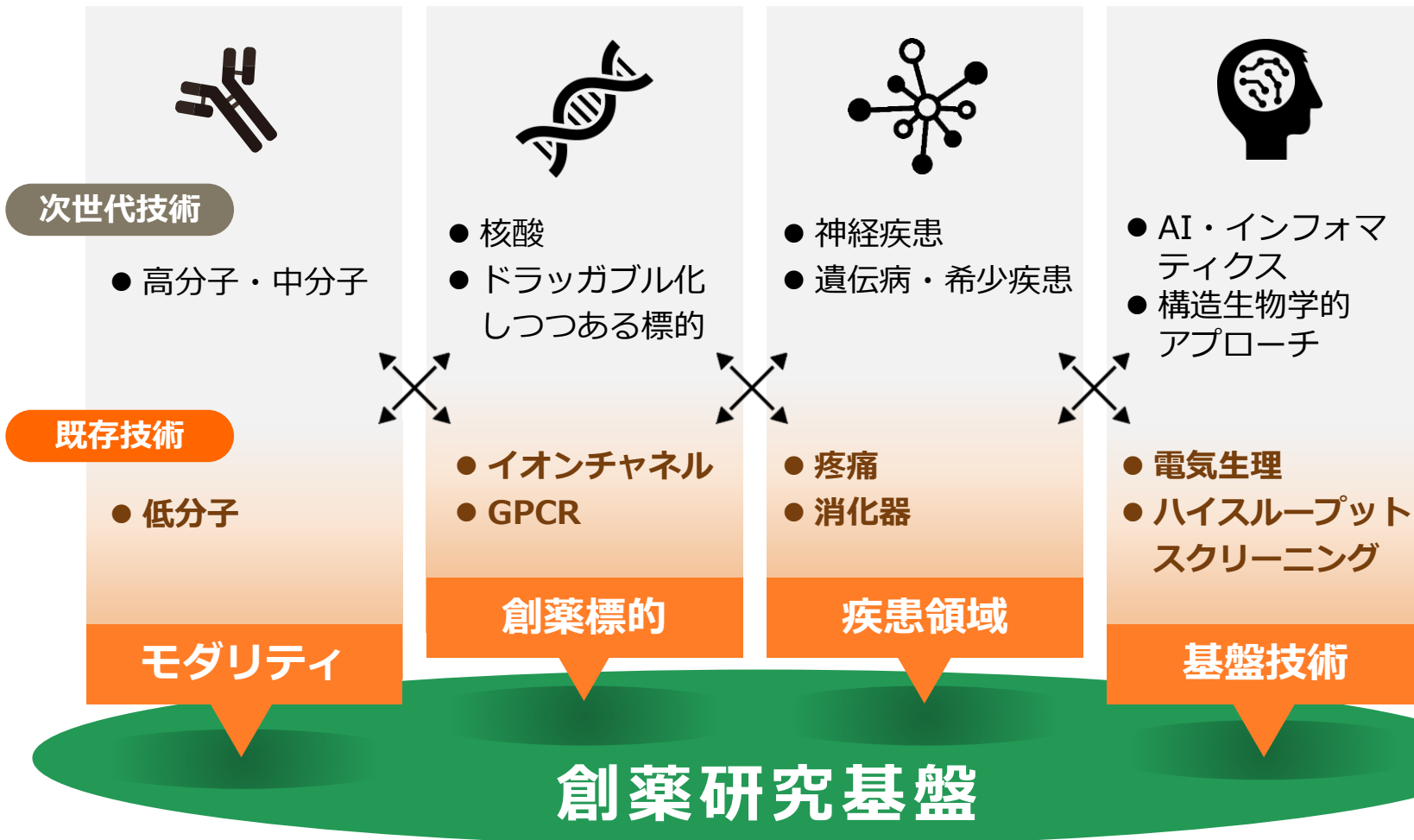


バリューアップ

注1) 前臨床段階以降にあるプログラムについて標的疾患ごとにわけて表示しています。
 注2) 国・地域によって開発段階に差がある場合は、最も進んだ段階を表示しています。
 詳細につきましては当社ウェブサイト (<https://www.raqualia.com/ja>) の「開発情報」にてご確認ください。

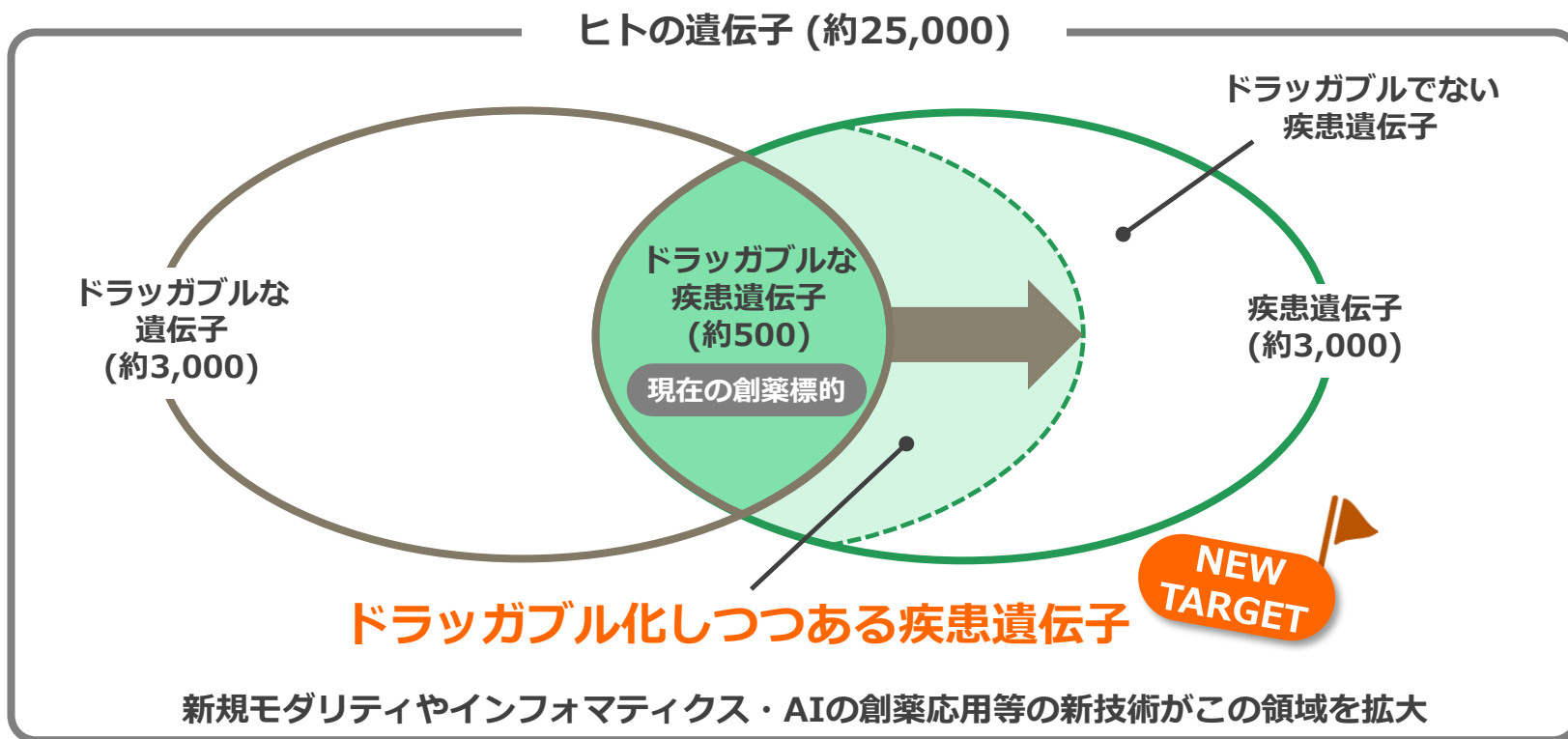


既存技術と新規取組みのシナジーで 次世代の自社創薬バリューチェーンを確立





創薬バリューチェーンのアップデートにより “ドラッグアブル化しつつある疾患遺伝子”を 標的とした創薬の実現に繋げる



Int. J. Biochem. Cell Biol., 39, 1156 (2007) に基づき当社作図

ドラッグアブルとは、化合物・抗体等の物質により受容体等の標的の分子の機能を調節できる可能性が高いことを意味し、ドラッグアブルかそうでないかによって新薬候補を生み出せるかどうかが大きく左右されます。



AIの活用により難病・希少疾患への適応を探索

ソシウム株式会社：独自の難病・希少疾患データベースとAI創薬プラットフォーム



新規モダリティ（細胞内抗体）による革新的創薬

STAND Therapeutics株式会社：独自技術（STAND技術）で細胞内から標的分子にアプローチ



mRNA標的の低分子化合物から新たな抗がん剤を創出

株式会社Veritas In Silico：mRNA上で標的部分構造を見出すインフォマティクス技術



当社化合物（イオンチャネル標的）の眼疾患への適応を探索

株式会社デ・ウイスタン・セラピューティクス研究所：眼科領域の創薬ノウハウ（緑内障治療薬（製品名：グラナテック®））



イオンチャネルの3次元立体構造に基づく低分子創薬

leadXpro AG：クライオ電子顕微鏡などを用いた膜タンパクの構造解析技術



株主価値に関連する指標

決算説明会

2023年12月期 第2四半期

(2023年6月30日現在)

	2022年12月期末	2023年12月期 第2四半期末
株価	1,232 円	739 円
時価総額	25,844 百万円	15,974 百万円
親会社株主に帰属する純利益	723 百万円	25 百万円
1株当たり純利益 (EPS)	34.50 円.銭	1.18 円.銭
1株当たり純資産 (BPS)	261.65 円.銭	299.33 円.銭
株価収益率 (PER)	35.7	626.3
株価純資産倍率 (PBR)	4.7	2.5
自己資本利益率 (ROE)	14.1%	0.4%
株主総利回り (TSR) ¹⁾	104.9%	62.9%
相対TSR (TOPIX対比) ¹⁾	108.3%	52.9%

1) 基準日：2021年12月30日



成長戦略により当社グループを大きく成長させ 株主価値の向上を実現する

時価総額 **300億円**
(株価¹⁾ 1,388 円)

個人投資家

テゴプラザン：日本導出
グレリン：自社開発の進展
創薬研究基盤の強化

成長投資により
成長可能性を追求

- ✓ 新たな投資家の獲得
- ✓ 明確な成長ストーリー

時価総額 **500億円**
(株価¹⁾ 2,313 円)

国内機関投資家
中小型株ファンド

継続的な導出契約締結
研究開発体制の充実
開発パイプラインの拡充

ベンチマーク指標MSCI²⁾
への採用を目指す

- ✓ 機関投資家目線の情報発信
- ✓ IR体制の強化

時価総額 **1,000億円**
(株価¹⁾ 4,626 円)

海外機関投資家
大型株ファンド

収益性のさらなる拡大
(ロイヤルティの最大化・
導出契約の大型化)

資本市場へのフルアクセス
でさらなる時価総額向上へ

- ✓ 長期安定株主の確保
- ✓ 海外機関投資家の獲得

1) 2023年6月30日時点における発行株式数(21,616,781株)に基づき算出; 2) MSCI: MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社)が公表する指数。採用によりパッシブ需要が喚起され株価の上昇要因となる。機関投資家の運用資産の約90%はMSCIベース。うち日本株試算の合計は約160兆円

私たちは創薬を通じて健康と幸せに貢献し、
人々の心に陽をもたらします



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社